

令和3年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
1 芸術・文化のまちづくり事業								
1	継続	麻生音楽祭開催事業	3,100,000	1,734,654	地域振興課	「芸術・文化のまち麻生」の一翼を担う事業として、麻生区を中心に音楽活動をしている音楽団体、小学校・中学校・高等学校などの音楽グループが、それぞれの自主性を尊重しつつ、相互の交流を図りながら互いに学び合うという精神を生かすとともに、日頃の活動の成果を披露するコンサートを開催することにより、広く区民のきずなを深め、区政の推進と芸術文化の向上を図ります。	・6月20日(日)コースのついで、6月26日(土)スクールコンサート、6月27日(日)ポピュラーミュージックショー、7月3日(土)アンサンブルのついで、7月4日(日)ファミリーコンサート 計5日間開催。 ・パナフラッグ、柱巻き広告掲出やチラシ等の広報活動を通じ、「音楽の街あさお」を多くの市民にPR。	市民が参加している企画・運営を行う麻生音楽祭は、芸術・文化のまちづくりを推進するために柱となっている事業です。今年度は中学生が参加するコンサートが中止となってしまいましたが、次年度も引き続き、改善や工夫を図り、芸術・文化のまちのシンボル事業として継続していきます。
2	継続	あさお観光資源の魅力紹介事業	1,114,000	1,114,000	地域振興課	観光ガイドブックの配布、観光写真コンクール及び禅寺丸柿のPRなどにより、区の魅力を発信し、区のイメージアップや地域の活性化を促進します。	観光ガイドブックの改訂版を発行し区民の方に配布をしました。ガイドブックには参考散策コースを掲載し、魅力発信を行いました。禅寺丸柿もぎ・芋掘り体験(定員30人、申込127人)、禅寺丸柿に関するパネル展示、かきまろくんグッズ(クリアファイル300部)の製作・配布をし、麻生区の地域資源の魅力を発信し、地域のイメージアップを図りました。	引き続き、禅寺丸柿をはじめとした貴重な地域資源を活用するとともに、新百合ヶ丘・黒川エリアをはじめとした豊富な観光資源をPRし、区のイメージアップや地域の活性化に資するため、社会状況に応じて見直しを行いながら継続して取り組んでいきます。
3	継続	KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会開催事業	999,000	678,398	地域振興課	自然豊かで芸術・文化の香り漂い、故郷が感じられるまちづくりが望まれているなか、麻生区に定着している芸術・文化資源「KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会」を有効に活用して、「ふるさとあさお」、「芸術・文化のまち麻生」を提供します。さらには、夏の終わりに家族と過ごす思い出の場を提供します。	新型コロナウイルス感染拡大のため、8月の百合丘小学校校庭での開催を中止し、10月10日に麻生市民館ホールで代替上映会を行いました。	芸術・文化を通じた地域住民の交流や地域資源を活かした芸術・文化のまちづくりを区内全域に広げていく観点から、引き続き事業を実施する必要があります。その上で、地域団体等との連携や関連イベントの内容、広報の方法等について検討します。
4	継続	ふるさとあさお再発見事業	363,000	295,521	地域振興課	麻生区の豊かな自然の中で育まれた米・野菜・七草を用いて、「古風」のゆえんである焼いたお餅を加えたお粥を振る舞い、地域に伝わる伝統・伝承文化などを区民に広く紹介します。	感染症対策として、当初検討していた七草粥1,000食から半数の500食提供とし、整理券方式で喫食する人を制限、テーブルの椅子は片側のみとするなど、十分な対策のもと実施しました。高の影響もあり想定より参加人数の減がありました。が、テレビ「イット!」で紹介された他、タウンニュース、インターネットニュースに掲載され、区内外の多くの方が「ふるさとあさお」を知る・感じる機会となりました。また、環境対策としてプラスチック製容器類の使用を抑制しました。	事業の執行方法の見直しを図ったうえで、継続して取り組みます。
5	継続	イメージアップ推進事業	1,512,000	1,438,570	企画課			
	継続	懸垂幕作成業務			地域振興課	麻生区のイメージアップを図るため、スポーツ・文化活動などの全国大会出場等を応援する懸垂幕を区役所壁面に掲出するとともに、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルに芸術・文化関連イベントの柱巻き広告物を設置することで広く地域住民にPRします。	・「麻生音楽祭」(R3.5-6)、「あさお芸術のまちコンサート 秋空のハーモニー」(R3.7-8)の柱巻き広告物の掲示、「アルテリカしんゆり」懸垂幕の掲出(R3.4-5) ・FCバシモン全日本U-12フットサル選手権大会出場懸垂幕の作製(R3.7) ・桐光学園高等学校男子バスケットボール部・サッカー部全国大会出場懸垂幕の作製・掲出、機布の作製(R3.12) ・栗平駅前掲示板の修繕(R3.12)	柱巻き広告物の広報効果は高く、次年度も継続して事業を実施しますが、新百合ヶ丘駅周辺のエリアマネジメントの動向も踏まえながら、並行してより効果的な広報手段の検討が必要であると考えられます。
	継続	新百合ヶ丘駅周辺のイベント支援事業			企画課	公民協会の取組のうち、「kirara@アートしんゆり」を区の共催事業と位置付け、イベント開催に係る参加と支援を行う。	kirara@アートしんゆりの支援を実施	麻生区の主要な取組である「芸術・文化のまちづくりの推進」に向けて公民協会によるイベントを実施して地域を活性化し、区の魅力をPRすることが求められているため、予算の見直しを行いながら本事業を継続して実施していきます。
6	継続	地域資源を活用したまちづくり推進事業	200,000	0	企画課	地域の特色や教育機関、企業等が持つ資源を活用し、各種団体と協働して魅力ある地域づくりに取り組むことを目的として、法人・団体等から地域資源を活用した事業の提案を受けて委託することで、区のイメージアップを図ります。	麻生区・6大学公学協働ネットワークを通じて、明治大学「黒川農場収穫祭」で、昭和音楽大学卒業生等によるミニコンサートを開催し、芸術まちづくりの寄与と農のイメージアップを図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により収穫祭が中止となったため、ミニコンサートも実施できませんでした。	提案団体数が少なく、事業のあり方について検討を行った結果、事業終了となりました。今後は提案団体等と協議を行い、実施していた事業に関しては、他の事業への移行も含め調整していく必要があります。
7	継続	あさお芸術のまちコンサート事業	2,766,000	2,668,550	地域振興課	平成12年度より始まった「あさおランチタイムコンサート」が会場を区役所ロビーから区内ホールへ移し名称を改めて実施しています。区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進します。	・9月26日 秋空のハーモニー(麻生市民館ホール) ・11月21日 ユニヴァーサル(新百合トウェンティンホール) ・12月26日 区内ホールコンサート(田園調布学園大学) ・2月27日 劇団民藝コラボコンサート(カフェ・グランデ あさお)内ホールイベントとして実施 ※収録配信 ・あさおバラアート展(ユニヴァーサルと同時開催)の開催支援	音楽を通じた様々な交流の活性化や、他の芸術・文化団体との協力・連携により地域のつながりを強めるため、本事業は継続して実施する必要があります。さらに、芸術・文化のまちづくりを区全域に広げ、誰もが文化芸術活動に親しみ環境づくりを進めるため、引き続き新たな連携による取組の実施など必要な検討を行います。
8	継続	しんゆり・芸術のまち推進事業	5,640,000	5,180,240	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関係のさまざまな施設や人材などの地域資源を活かし、事業者、教育機関、市民、行政等の連携により活力ある地域経済の創造、豊かな地域社会の実現と芸術を通じた幅広い効果を追求する「しんゆり・芸術のまちづくり」の取組を区全体に広げ、「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指します。	・「あさお芸術・文化交流カフェ」(10月21日、3月16日)の開催、「カフェ・グランデ あさお」(2月27日)の無観客開催 ・新百合ヶ丘駅南口バスターミナルでの柱巻き広告物の掲示(アルテリカ:R3.4-5、しんゆり映画祭:R3.10-11) ・アルテリカしんゆりやしんゆりステーションピアノ、kirara@アートしんゆり、しんゆりフェスティバル・マルシェに関する支援 ・「芸術・文化施設「バリアフリーマップ」の周知・活用 ・「しんゆり・芸術のまちづくり」ホームページ及び「しんゆりアートナビ」の改良	区内の芸術・文化資源を生かした地域活性化や地域ブランド化、さらに誰もが芸術文化を楽しめる環境づくりに向け、集約した情報発信や芸術・文化団体の交流・連携を引き続き推進するため、本事業を継続し、取組を充実していく必要があります。
9	継続	区制40周年記念事業費	350,000	338,771	企画課	令和4年に区制40周年を迎えることから、麻生区の魅力を再発見し誇りと愛着を高め、区民がともに未来を見据えたまちづくりを考えることを目的に、記念事業等の検討を行います。	65団体が参画する実行委員会を立ち上げ、令和4年度に実施する記念事業の検討を行いました。	企画した事業について、予算面や役割分担について実行委員会と確認を行いながら、見直しを行える部分は行った上で着実に実施していきます。
2 農と環境を活かしたまちづくり事業								
10	継続	あさお花いっぱい推進事業	942,000	937,376	地域振興課	区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を目的とし、公共的空間にある花壇等を自主的かつ継続的に管理している団体に花苗等を提供して支援します。	ホームページ、タウン誌等での広報の他、川崎市美化運動実施麻生支部と連携して町内会・自治会、子ども会といった各団体に広く協力を呼びかけ、支援を必要とする美化活動団体を募りました。申請のあった36団体(内新規6団体)に花苗等を支援し、地域の環境美化向上及び地域コミュニティの推進につながりました。	地域に根差したコミュニティ活動の発展、地域の環境美化に対する意識の向上を進めるため、当事業による美化活動団体への支援は重要であり、社会情勢に応じ見直しを行いながら、今後も継続的に取り組んでいく必要があります。
11	継続	麻生里地・里山保全推進事業	844,000	676,432	生涯学習支援課	麻生区は、多摩丘陵の豊かな自然を残しながら、「しんゆり・芸術のまちづくり」などを中心にまちづくりが進められています。しかし、その一方で、心を和ませてくれる里山の豊かな田園風景が、年々失われつつあります。このまちの先人達が築いてくれた里山の自然や、その自然とともにある貴重な文化や歴史を継承し、様々な団体や個人との協働や連携を図り、新しい里地・里山の魅力を引き出し、次世代へつなぐための事業を展開します。	講座参加者の定員を減らしたり、実施方法を工夫するなどの感染防止対策を施して、6月～12月に里地・里山カフェ、10月～12月にあさお里山こどもクラブ、10月～12月に里地里山ナチュラリスト養成講座を継続実施しました。また、万福寺人形まつりには、区内小学校の児童や大学生の参加があり、風景写真展の開催、里地・里山だよりの発行等により、自然とともにある貴重な文化や歴史の承継につながりました。	委託団体の高齢化に伴い、若い人材の確保をしなければ事業縮小、実施継続が不可能となるのが予想される。そのため、事業内容の精査をしたり、次世代の担い手を獲得できるような事業を実施していく必要がある。
12	継続	ヤマユリ植栽普及促進事業	250,000	250,000	地域振興課	区内で自然環境再生への問題意識が高まっている中、地域の環境美化及び地域コミュニティを推進するために、地域の公園緑地管理運営協議会等と連携しながら、消えつつあるヤマユリの植栽活動を支援するとともに、植栽ノウハウの蓄積・普及を促進します。	・地域の公園愛護会と連携したヤマユリ植栽の観察・管理活動(6植栽地)と植栽支援(4か所) ・ヤマユリ開花展示会の開催(7月2日～7日) ・ヤマユリ植栽普及講習会(11月10日) ・ヤマユリ育苗講習会(3月24日)	区民の関心を引き続き高い区の花ヤマユリの植栽・普及活動は、団体との協働により今後も継続して実施していく必要がありますが、今後も担い手の確保をできるような事業の実施を検討していく必要があると考えられます。
13	継続	エコのまち麻生推進事業	453,000	222,305	企画課	区民一人一人が取り組める身近なエコ活動を啓発し、区民や市民活動団体等との協働による「エコのまち麻生」を推進します。	自然エネルギーの活用促進や地球温暖化防止に向けて、講演会「気候危機と新型コロナウイルス」(7/10)、夏休み環境イベント(8/7)、環境局との意見交換会(4/28、12/21)、講演会「今、私たちは気候危機にどう立ち向かうのか～未来の未来がかかる2030年～」などを開催しました。	SDGsの目標達成のため、環境問題の対応に加え、多様な主体と連携した取組を進める必要があることから、これまでの「エコのまち麻生推進事業」を見直し、令和4年度から「麻生区SDGs推進事業」に名称を変更しました。
14	継続	農と環境を活かした連携事業	3,941,000	3,877,500	企画課	区民会議第1期「地元産物と地域交流」第2期「エコのまち麻生の推進」第3期「循環型のまち・生ごみリサイクル」、「グリーンアップ・里山ボランティア」の提案を踏まえ、区内大学や学校、農業振興地域の農業従事者、事業者等と連携しながら、区内にある農業資源(早野・黒川・同上)の農業振興地域、明治大学黒川農場)や緑地などの環境資源を活用した地域活性化や地域交流を促進します。	・地域活性化専門部会(年2回)、黒川地域連携協議会(年1回)を開催し、今年度の取組や基本計画を見直し(案)について、関係者相互の理解を促進しました。 ・農業者や大学など地域と連携し、野菜の収穫体験や料理教室のイベント(年2回)を開催しました。 ・同上地域の関係者にヒアリングを行うなど、地域活性化に向けた検討を行いました。	今年度は黒川地域における基本計画の見直しを行い、協議会及び専門部会の効率的な運営体制の見直し(案)の策定し、効率的なイベントを実施に向けた体制案を整えたことから、引き続き効率的、効果的に農と環境に関する事業運営を継続することが適切であると考えます。
3 すこやか・支え合いまちづくり事業								
15	継続	あさお福祉まつり開催事業	2,344,000	2,469,220	地域ケア推進課	区内で地域福祉活動に携わる当事者・ボランティア・施設などの活動を広く区民に知らせ、福祉への理解を深めるとともに、地域福祉に携わる団体が交流する「あさお福祉まつり」を開催します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となりましたが、地域福祉活動を広く知らせるために、例年のあさお福祉まつり出店団体が作成した地域福祉団体紹介のパネル展示(新百合21ビルギャラリー・麻生区役所)の実施、しんゆり・フェスティバル・マルシェへのブース出店を行いました。また、区民へ必要な保健福祉情報を届けることを目的に、保健福祉の窓口情報を掲載した「保健福祉の窓口一覧」を作成し、全戸配布を行うなど、コロナ禍で代替手段を検討し、事業の目的を果たしました。	令和元年度までは参加団体数や来場者数は少しずつ増加傾向にあり、重要な福祉事業として区内に定着しています。感染症対策を考慮しながら、地域包括ケアシステムを推進するために、今後も区民発意のもと、来場者への地域福祉に関する普及啓発の場として事業を開催していきます。区計画の見直しに伴い、「高齢者見守りネットワーク事業」と統合して「多様な主体との連携事業」として、今後も事業を進めていきます。

令和3年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
16	継続	公園を拠点にした健康づくり推進事業	88,000	79,981	地域支援課	緑の多い麻生区の特徴を生かして、区民がウォーキングや体操などの取り組みを通して生活習慣病の予防及び介護予防を図り、健康寿命を延伸することを目的として、公園を拠点とした健康ウォーク及び健康体操を継続実施します。	・区内6か所の公園ウォーキングおよび4か所の公園体操を開催できるよう、活動を支援した。 ・ボランティア向けのスキルアップ研修会を実施した。 ・あさおウォーキングマップの配布やYouTubeでの体操配信を継続した。 ・体操動画DVDの作成を行い、地域包括支援センターや市民グループに配布した。 ・コロナウイルス感染予防のための緊急事態宣言中や感染者が多いときは公園での活動を中止したため、実績は例年を下回った。	公園での健康づくり以外にも身近な場所で身体活動をあげるための取り組みが必要である。また、ボランティアの高齢化が課題となっているため、ボランティアの底上げが必要と考え、令和4年度は地域包括ケアシステム推進事業に統合していく。
17	継続	高齢者見守りネットワーク事業	25,000	22,860	高齢・障害課	日常の事業活動を通して高齢者と接することの多い、生協、信用金庫・JA・郵便局、宅配弁当、薬局等の地域の事業所と、民生委員や地域包括支援センター、麻生警察署・麻生消防署・川崎市消費者行政センター・司法書士会等関係機関が参加する情報交換会・連絡会を開催し、顔の見える関係づくりを目指す。関係機関等の連携強化により生活に異変のある高齢者や何らかの支援を必要としている高齢者を早期に発見できる環境づくり、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進します。	協力事業者及び関係機関(民生委員、地域包括支援センター、警察、消防など)との情報共有及び連携強化を図り、事業を円滑に運営することを目的とする情報交換会を12月8日実施。今年度は新たに4事業所が加入しました。	多様な主体との連携事業との統合により、本事業は終了とします。今後は更に地域の多様な事業所や関係機関等との関係構築と見守り体制整備のため、今後も情報交換会を開催し、支援を必要とする高齢者を早期に発見できる地域づくりを統合する事業と連携して推進します。
18	継続	地域包括ケアシステム推進事業	1,427,000	198,111	地域ケア推進課	地域包括ケアシステムを区内に推進していくため、地域ごとに「つながり・連携・支え合い」の仕組みづくりを進めます。高齢者が集う場を活用し、子ども・子育て世代と高齢者が交流を図る多世代交流事業や、物品の貸出、団体とのマッチングなど地域活動に係る資源の支援を行う地域活動支援事業、様々な主体による地域の取組の紹介、地域住民への意識向上や情報の周知等を目的とした普及・啓発事業を行います。	●多世代交流事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者施設等への出入りが制限される中、非接触にて地域の親子と高齢者などの交流につながる企画を検討し、各地区の特色に応じた形式にて実施しました。なお、5つの地域に対し働きかけをしましたが、施設や地域の団体の意向により3地域での実施となりました。 ●地域包括ケアシステム普及・啓発事業 ・地域包括ケアシステム講演会「地域のつながりづくりを考える～町会・自治会ヒアリング報告会～」(3月12日 53名参加(会場20名、オンライン33名)) ●感染症予防等普及啓発事業 ・市民公開講座(新型コロナウイルス感染症～Withコロナ、アフターコロナを考える～ZOOM講演及び会場～(2月24日 19名参加(会場9名、オンライン10名))	地域の実情に応じた取組を進めるため、必要な支援方法等の見直しを行い、住民に対しては地域包括ケアシステムの啓発を推進すると同時に、町会・自治会などの地域の団体等に先導事例などの紹介や、活動の促進を行っていく必要があります。区計画の見直しに伴い、「公園を拠点とした健康づくり推進事業」と統合して事業を進めていきます。

4 安全・安心まちづくり事業

19	継続	麻生区安全・安心まちづくり事業	1,884,000	1,792,482	危機管理担当	●社会情勢に即応した課題を共通認識し、住民・地域団体・事業者・行政機関等の連携及び協働により、区民が安全かつ安心して暮らせるまちづくりを進めます。●死亡事故に直結することの多い自転車事故を回避するための判断力向上を目的に、事故の瞬間、現場を目で見て学ぶ「スクエアドストレート教育」を実施します。●依然多く発生している高齢者が関わる交通事故防止のため、民間自動車教習所で高齢者が安全な交通安全知識・技術を習得する「シルバードライビングスクール」を実施します。	・スポーツ防犯教室の実施(10月17日南百合小学校、12月12日西生田小学校) ・スクエアドストレート教育の実施(12月13日白鳥中学校、1月26日楠生中学校、2月26日桐光学園中・高) ・シルバードライビングスクールの実施(10月27日) ・麻生セーフティメールの運用(約70件配信)	今後においても事業ニーズがある事に加え、引き続きコロナ禍の影響も踏まえた上で、各時点での状況に即した方向性を検討しながら事業継続を行ってまいります。
20	継続	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	830,000	693,000	地域振興課	区民から好評を得ている麻生区ガイドマップを、最新の情報に更新し、改訂版を発行します。配布方法は、転入者に配布することを中心に、区役所窓口にて必要な方に配布します。転入者を知ってもらいたい、放置自転車等放置禁止区域、路上喫煙防止重点区域の掲載や、転入者が転入して不安のないよう、災害緊急時の井戸の所在地や避難所一覧などの防災情報も盛り込むなど、地図情報だけでなく、麻生区の情報も盛り込んだものとします。	・令和4年2月、麻生区ガイドマップの改訂・発行(13,000部) ・麻生区ホームページ用の地図データ、新百合ヶ丘駅周辺地図データの作成、公開	広告収入の検討を進めるとともに、多様な転入者の様々なニーズに応えられるよう、マルチデバイス化や多言語化の推進を図りながら、今後も継続して事業を実施します。
21	継続	麻生落書き消し事業	100,000	99,632	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺並びに百合ヶ丘駅及び神生駅周辺等を中心とした落書き消しを実施し、駅周辺の美化と犯罪防止をめざします。また、町内会や地域の要請による「出前落書き消し」を実施し、落書き消しのノウハウを伝え、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進します。	8月3日・百合丘2丁目(出前落書き消し) 11月13日・王様寺ふるさと公園(一般参加者、企業等が参加した落書き消し)	これまで継続して実施してきた落書き消しの活動により、事業開始当初より落書きが減少しており、今後も地域の美化・犯罪防止に向けて事業を継続する必要があります。今後も地域団体等と連携を深め、参加者を募りながら落書き消しの普及啓発活動を一層促進していきます。
22	継続	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	66,000	59,400	危機管理担当	交通災害や犯罪に巻き込まれない事を目的に、平成23年度から小学校区ごとに交通・防犯上の危険箇所を把握し、マップを作製しています。事業を開始した平成23年度から3年ごとに改訂を行い、改訂年度は1年生から3年生まで、それ以外の年度は4月に入学する新1年生に必要部数を増刷修正し配布しています。	令和3年度は前年度に改訂したマップを基に麻生区交通安全委員の会及び麻生警察署交通課と連携して区内の危険箇所等を確認の上、小学校区ごとに児童数印刷し、令和4年3月に各小学校に配布しました。	次回改訂は令和5年度を予定しています。地域における交通事故や犯罪の懸念が依然として見受けられることから、今後も関係機関等と連携の上、有効な情報を反映させたマップを作製し、効果的な活用により安全・安心の確保ができるよう取り組んでまいります。
23	継続	地域防災力の向上事業	3,960,000	3,379,669	危機管理担当	災害時の対応においては自助・共助の取組みが重要であることから、効果的な啓発を通じて区民の防災意識の醸成を図るとともに、より実践的な内容を主眼とした区総合防災訓練の実施、避難所運営会議や自主防災組織等地域主体の訓練に対する支援や関係団体による災害対策連絡協議会の開催を通じ、地域が一体となって災害対応の充実を図ります。併せて、区災害対策本部体制の強化に向けて、研修・訓練を通じ職員等の防災意識・スキルの向上を図ることで、地域防災力の向上を目指します。	・おうちキャンプ等をテーマとした防災啓発動画を制作してYouTubeにアップする等、自助の取組みを促す啓発を行いました。 ・新たに区本部立ち上げ訓練や情報処理訓練、区本部運営訓練を実施する等、区本部体制の強化を図りました。 ・自主防組織に対する訓練等への支援や避難所運営会議の運営支援を行い、地域防災力の向上に努めました。	限られた資源や人員を効果的に使えるよう、継続的に区本部運営体制の見直しを図っていきます。また訓練や研修を実施する際には、新型コロナウイルス感染症の影響が今後も継続していくと考えられることを踏まえ、実情に即した中でより効果的かつ実践的な手法の検討・実施を進めていきます。

5 総合的な子ども・子育て支援事業

24	継続	子育て支援・企画事業	2,351,000	1,978,246	地域ケア推進課	地域の子ども関連機関や団体と連携し、情報交換、研修、相互協力を行うことにより、地域の実情に合った総合的な子ども・子育て支援事業を実施します。	●麻生区子ども関連ネットワーク会議 全体会・研修会、子育てサークル交流会、区民向け講座の開催 ・全体会を5月、11月、1月の年3回実施(1回目は書面開催)。 ・11月に「子ども・保護者の意識・実態を理解し、地域で育てていくために」の研修会を実施。 ・1月に「新型コロナウイルス流行による、乳幼児から学齢期の親子への影響」の研修会を実施。 ・7月に子育てサークル交流会をオンラインで実施(9名参加)。 ・10月に「おうちでできる子ども向け運動講座」をオンラインで開催(11名参加) ●子ども関連情報の発信 ・子育て情報誌の作成・配布(「きゅつとハグあさお」5,600部・「麻生区ちびっこおでかMAP11,000部」等) ・ホームページ、子ども情報コーナー、かわさき子育てアプリの運用 ●子育てグループへの活動支援の実施 ・麻生区子育て人材バンク(派遣件数 119件 119人) ●区民向け講座、イベントの実施 ・新米パパ＆ママ向け子育て連続講座(全3回)を2回(各回平均30名程度参加) ・区民向け子育て講座(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・イオンと連携し、各保育園職員による「子ども関連施設の紹介展示」「幼稚園・こども園・保育所等幼児作品展」 ・地域の次年度就学予定児童の交流を目的とした「就学前児童向け体験保育」(1組参加)	今年度の実施結果を検証し、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行うとともに、地域の声を反映させながら、地域全体で子育て世帯を支える子ども・子育て支援を推進する。区計画の見直しに伴い、「あさお子育てフェスタ開催事業」と統合して事業を進めていきます。
25	継続	こども関連大学連携事業	2,103,000	518,787	地域ケア推進課	「麻生区6大学 公学協働ネットワーク」に基づき、各大学の特色や資源などを活用した、総合的な子ども・子育て支援事業を推進します。	・昭和音楽大学との連携事業 子どもと一緒にコンサート(新型コロナウイルス感染防止のため中止) 交流コンサート(11/20 57名) ・和光大学との連携事業 【オンライン】親子で楽しむ学ぼう！～巨大地下トンネルのしくみと鶴見川の生きもの観察～(9/26 11組) ・田園調布学園大学との連携事業 あそぼう けろけろ田園チャイルド(新型コロナウイルス感染防止のため中止) キッズアート田園「夢がふくらむWAKUWAKUランド～粘土であそぼう」(新型コロナウイルス感染防止のため中止) ・日本映画大学との連携事業 「こども映画大学」(新型コロナウイルス感染防止のため中止) ・明治大学との連携事業 「アグリ・エコファーム体験 in明大黒川農場」(新型コロナウイルス感染防止のため中止) ・五川大学との連携事業 オンライン赤ちゃん学連続講座(12/3・12/8・12/10 各回平均23名程度) 体験学習事業(新型コロナウイルス感染防止のため中止)	今年度の結果を検証し、各大学とも調整を図りながら、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行う。また、引き続き、感染症対策を行いながら、より効果的な子ども・子育て支援を推進する。
26	継続	外国籍等子ども学習支援事業	652,000	547,758	学校・地域連携担当	外国につながる児童・生徒の学習を地域で支援するため、区内の小・中学校において個別の学習支援や公共施設等を利用した集団学習支援等を行います。	・区内の外国籍等海外につながる児童・生徒に対して、学校での個別学習支援を実施した。 ・コロナ下の緊急事態宣言の継続的な発令や、学校での感染拡大状況等に配慮しながらの実施となり、支援の回数等を若干縮小しての支援活動となった。 ・例年実施していた長期休業期間を利用したあそび学習会や児童・生徒の交流を目的とした親睦会はコロナ下のため、令和2年度に引き続き中止とした。	学習支援活動を継続しつつも、外国につながる児童・生徒の割合は年々増加し、支援へのニーズがさらに増すことが見込まれるため、新たな支援ボランティアの募集、育成や多言語への対応、新しい生活様式を踏まえた支援の方法・内容の検討等が課題となっています。
27	継続	あさお子育てフェスタ開催事業	454,000	0	地域ケア推進課	子育ての不安や悩みを抱え孤立しないように、行政と地域の子育て支援団体等が協働して「子育てフェスタ」を開催します。必要な支援の届け、地域団体とのつながりや子育て世代相互の交流の機会として、ストレスや悩みの解消につながる。区内の様々な子育て支援施設等のアビールの場としても活用します。	新型コロナウイルス感染拡大防止策として、事前予約制の導入や団体のレイアウト等を、関係職員と検討を重ねる中で、子育て関連団体の状況を把握することで連携を深めた。また、最終的に新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止としたものの、子育てフェスタで実施している園児の作品展はオンラインで実施した。	日頃から子育て支援を行う団体や地域の方の意見を取り入れながら、ウィズコロナに対応した企画検討を行い、内容の充実、参加者の利便性を図る必要がある。区計画の見直しに伴い、「子育て支援・企画事業」に統合されます。

令和3年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
6 コミュニティづくり事業								
28	継続	麻生区市民活動支援施設利用促進事業	2,817,000	1,920,137	地域振興課	麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」を麻生区における多目的な市民活動支援拠点として位置づけ、同施設の市民活動支援の推進を図ることを目的として実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体交流イベント(活動団体発表会:2月13日)、人材育成講座(アクティブシニア講座:1月15日～全5回)等の実施 「やまゆりニュース」及び「あさおふれんず」発行による市民活動の情報提供、発信 市民活動相談窓口の運営(週2回)※PR活動については、新型コロナウイルスの影響により実施見送り 新しいコミュニティづくりに資する市民活動への助成(5団体) 活動の場を求める地域の市民活動団体、人材と、それを求める施設などをつなげるための情報を紹介した冊子の発行(400部)、ホームページ上への掲載 	市民主体の中間支援組織が運営する麻生区の市民活動支援の拠点として、「やまゆり」を通じ市民活動支援を継続していく必要があります。今後は、これからのコミュニティ施策における「あさお希望のシナリオプロジェクト」での取組の中で、やまゆりの特性を生かした中間支援の役割について検討するとともに、やまゆりのあり方についても引き続き検討していきます。
29	継続	町内会事業提案制度事業	813,000	125,061	地域振興課	地域の課題の解決に資するため、地域の担い手である町内会・自治会から事業提案を受け、審査を経て当該町内会・自治会と協定書を締結し、麻生区役所と協働して実施します。	「金程スマートタウンプロジェクト」事業(金程町会)、「グランドゴルフでお隣さんを増やそう」事業(麻生台団地自治会)が提案・実施され、地域の課題解決につながりました。「防災視察研修」事業(東百合丘町会)、「読売日本交響楽団 演奏会」事業(はるひ野町内会)は提案されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。	提案事業が制度の枠組みから外れても団体が事業を自主財源で継続運営できるよう制度の見直しを行い、令和2年度から委託事業ではなく負担金事業に変更したため、団体の継続運営に向けた動機付け等の支援が必要であると考えられます。また、令和3年7月から町内会・自治会活動応援補助金が開始されたため、本事業の対象とする活動とやかに棲み分けを行うか検討する必要があります。
30	継続	麻生区地域功労賞事業	34,000	18,351	地域振興課	地域活動への関心を高めることを目的として、地域活性化に貢献している個人または団体を麻生区長名で表彰します。	令和3年度は、麻生区地域功労賞選考委員会の選考により、個人1名、1団体が受賞しました。当初、あさお区民まつりにおいて表彰式を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で区民まつりが中止となったため、別日に表彰状贈呈式を行い、受賞者については町連打より、地元広報紙などで広報しました。	地域活性化に貢献した個人や団体を表彰し、住民の地域活動への関心と理解を深めることは、地域活動への参加を促進するために必要な事業であることから、広報誌の掲載内容の検討等見直しを行った上で継続します。
31	継続	麻生区市民活動支援施設活用事業	9,244,000	9,093,101	地域振興課	当該施設は、新百合丘駅南口・旧あさひ銀行グランド跡地の土地利用転換に伴い、応分の負担として開発業者が「市民活動の拠点施設」を整備することが決まり、平成19年4月に市に寄贈され、供用を開始しました。当該施設を多目的な市民活動の拠点施設として、市民の主体的な運営参加を実現することにより、市民活動の一層の推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動の「場」の提供(会議室の平日昼間稼働率:78%) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、休館期間や利用定員の制限等あり。 	麻生区の市民活動の拠点として、多くの市民活動団体に活動の場を提供するなどの支援を継続するとともに「市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業」を統合します。また、建物の老朽化により、今後の修繕計画について検討していく必要があります。また、これからのコミュニティ施策を踏まえ、今後のやまゆりのあり方についても引き続き検討していきます。
32	継続	麻生区多文化共生推進事業	340,000	71,329	生涯学習支援課	多文化共生を題材とし、麻生区在住の外国人市民との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深める。次世代を担う子どもの参加できる事業や、多文化共生社会への関心が薄い市民に対して興味を持てるような様々な事業を企画しながら、麻生区内において多文化共生社会の実現をめざします。	実行委員会形式で検討。新型コロナウイルス感染症拡大が続く状況を受け、オンライン(ZOOM)講座として企画。麻生区在住の英会話講師を招き、「〜ガーナから麻生区へ〜文化をつないで」というタイトルで開催した。当日はガーナの話と日本で聞いたことの2テーマで、各テーマの話の後十分なQ&Aのコミュニケーションの時間を取り、交流を深めた。また「麻生区に暮らして」という外国人のインタビュー等を掲載した冊子を2言語で1,000部作成し、各施設等に配布した。	次年度からは委託事業から直営事業に移行し、市の方向性を示しながら、企画委員である市民などの声を取り入れ実施していく。
33	継続	市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業	107,000	134,905	生涯学習支援課	市民活動・地域活動の推進に向けて、市民活動やボランティア活動などを始めたい市民と 麻生市民交流館やまゆり、麻生市民館、社会福祉協議会の団体を結び付けることを目的として、「麻生区市民活動団体検索サイト」の運用・管理を行います。	地域人材を市民活動等につなげる取組として現在運用中の「麻生区市民活動団体検索システム」について、関係各課、関係機関との協議を基に、市民と団体間のコーディネートが効果的・効率的に行えるよう登録様式の見直しやシステム改修等を実施した。	麻生区市民活動団体検索サイトの取組は、麻生区市民活動支援施設利用促進事業に統合し、引き続き市民活動団体の情報発信等を推進する。
34	継続	区民祭開催経費	235,000	0	地域振興課	住みよいまちづくりを目指し麻生区民の連携を深めながら、毎年10月第2日曜日にあさお区民まつりを開催します。41団体により実行委員会が構成され、各町会・自治会や協賛企業の協力もあり、区民手作りのまつりとして地域に定着しています。	新型コロナウイルス感染症対策のため、区役所広場で実施する区民まつりは中止としました。第40回(令和4年度)開催に向け、プロジェクト委員会を立ち上げ検討を重ねた他、プレイベントとして、まつり開催予定日の10月10日(日)に、パンダコングダ上映会に合わせ、麻生市民館大ホールにて区民まつりの紹介を行い、第40回開催への機運を高めました。	令和4年度は第40回記念開催であるため、区制40周年記念事業の一環として、しんゆりフェスティバルマルシェと同日に開催するなど、より魅力的な区民まつりの開催につなげます。
35	継続	麻生区市民提案型協働事業	1,892,000	1,595,715	企画課	地域課題の発見と解決を図る新たな提案型事業を公募し、事業選定審査委員会の意見をもとに事業決定します。決定した事業は、市民活動団体等の提案団体と協働の理念にのっとり、事業の経費の一部を負担して実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 各所管課と連携して適切な事業運営を行った(協定、契約、予算執行、その他連絡調整など)。 今年度事業の中間報告及び3月16日に今年度実施事業の報告会を行いました。 提案事業の実施スケジュールや審査基準について、関係所管課・機関や審査委員とも協議の上、検討を行いました。 令和4年度事業の公募・選定を実施しました。 	提案事業が制度の枠組みから外れても団体が事業を自主財源で継続運営できるよう支援となるよう、より効果的な募集要項等の見直しを検討・実施を進めていきます。
36	新規	町内会・自治会加入促進事業	708,000	686,146	地域振興課	麻生区町会連合会と協働し、町内会・自治会未加入者に対する町内会・自治会加入促進パンフレットを製作することにより、積極的に町内会・自治会への加入を促し、地域コミュニティの活性化を図ります。	令和2年度作成の「町会・自治会ガイドブック」の内容を改訂した上で発行し、麻生区転入者が区役所での転入手続きの際に受け取るウェルカムセットの一つとして配布し、町内会・自治会への加入を呼びかけました。	町内会・自治会への支援の観点からも、町内会・自治会の加入率を維持していくことは重要であり、掲載内容を適宜検討し見直しを行った上で毎年継続して実施していきます。
37	継続	スポーツのまち麻生推進事業	2,271,000	1,080,872	地域振興課	「川崎フロンターレ麻生グランド」を始めとした、区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業の実施や、区内のスポーツ関係団体で構成される「スポーツのまち麻生推進会議」の運営、さらに区民が自主的に行うスポーツ大会の支援、スポーツ・健康ロード等の地域資源を活用したスポーツのまちづくり事業、ユニバーサルスポーツ活動の支援事業などを通して、魅力あるスポーツのまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> あさおスポーツフェスティバル・申請予定14大会中5大会のみ開催。【新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため大会中止】 スポーツ・健康ロード等活用事業ではポールウォーキング等を5回実施し、計187名が参加。 アンストクラブ主催応援ツアーは103名が参加。【新型コロナウイルス感染症拡大対応のため青玄まつりは開催中止】 	かわさきバレーメント推進ビジョンの策定に伴うバレーメントの全庁的な取組の推進及び第2期川崎市スポーツ推進計画の策定を受けて、障害者と健常者が一緒に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催など、これまでの地域資源を活用した地域スポーツの推進の継続と、さらなる取組を推進する必要があります。

7 地域課題対応事業その他事業

38	継続	事務費等共通経費	1,097,000	1,001,982	企画課	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等の購入、郵便料、複写品費等を確保します。	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等を購入しました。また、郵便料、複写品費等を適正に執行しました。	需用費等について見直しを行いながら、引き続き計画的に執行していく必要があると考えられます。
----	----	----------	-----------	-----------	-----	------------------------------------------	-----------------------------------------------------	-----------------------------------------------

8 区役所サービス向上事業

39	継続	区役所窓口等サービス充実改善事業	2,120,000	2,160,590	区民課	区役所サービス向上指針に基づき、市民に便利で快適なサービスの、効率的・効果的かつ総合的な提供を行い、市民の視点に立った区役所サービスの充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 混雑期に窓口案内等を設置し、適切な案内・誘導を行いました。 職員の接客能力の向上のため、接遇研修、認知症サポーター養成講座等を実施しました。 庁舎案内リーフレット、業務内容別早見表の作成等を行い、的確でわかりやすい案内を実施しました。 区民サービス部、児童家庭課、高齢・障害課において番号発券機を活用し、わかりやすい窓口案内を実施しました。 窓口や待合スペース等において、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、感染拡大防止に努めました。 	市民の視点に立ったサービス向上のため、社会環境の変化への柔軟な対応や、市民ニーズの把握を常にに行い、見直し・改善の上、継続して取り組む必要があります。
40	継続	区政・地域情報提供事業	394,000	261,213	企画課	区役所職員の広報・広聴業務に関するスキルアップを図り、区民にとってわかりやすく親しみやすい広報・広聴活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 随時、ホームページの更新作業を行いました。 麻生区役所職員を対象に広報研修を実施しました。 	「川崎市シティプロモーション戦略プラン」の方針を考慮しながら、区の広報広聴推進のあり方や広報研修の内容を検討し、引続き、市民に対する効果的な情報提供などのあり方を、実務を通じて検証していきます。

9 区の新たな課題即応事業

41	継続	区の新たな課題即応事業	5,000,000	4,089,440	企画課	年度途中に発生する新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 白山中学校跡地施設体育館階段天井及び壁補修工事 感染症拡大防止等に向けた番号発券機の購入 非常用ポータブル電源の購入 庁舎内感染症対策に係るバージョンの購入 	引き続き、次年度も、年度途中で区の新たな課題が発生した場合は、所管課や関係局と調整し、迅速な対応を行い、事業を実施していきます。
----	----	-------------	-----------	-----------	-----	-----------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

合計	65,830,000	53,490,305
----	------------	------------